



大臨技ニュース

〒545-0051
 大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
 TEL.06-6647-3454 FAX.06-6644-1128
 社団法人 大阪府臨床衛生検査技師会
 発行責任者: 朝山 均
 大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

お知らせ

第13回 大臨技南支部自由集会のご案内

4月から特定機能病院、入院を対象に診断群別包括医療(DPC)が導入されます。検査や検査室はどのように変わって行くのでしょうか? どう対応すれば良いのでしょうか? 今回の自由集会ではDPCと前回の第12回自由集会に引き続きチーム医療への参画をテーマに取り上げます。

DPCに関しては基礎から分かり易く説明して頂き、参加された会員の皆様と活発な討論が行えるものと期待しております。また、内視鏡技師として活躍されている

施設からの報告や糖尿病療養指導士の資格を習得した技師の集まりである「大阪糖臨研」からの現況報告はチーム医療への参画の具体例としてこれからの検査技師にとって非常に役立つものと考え企画致しました。

支部勉強会の特色を生かし楽しく分かり易く説明、報告して戴きます。答えのあるテーマではありませんが、ヒントがいっぱい見つかる勉強会です。ゴールデンウィーク前の開催ですが、南支部の皆様、他支部の皆様、企業の皆様、多数の参加をお待ちしております。

日時:平成15年4月26日(土) 15:00~17:30

場所:市立岸和田市民病院 3F 講堂

岸和田市額原2

(会場担当:杉山昌晃 TEL:0724-45-1000 内線232)

JR阪和線、下松駅(各停)下車、徒歩約7分

診療終了後ですでお車での来場も可能です。

内容:『包括医療制度とチーム医療への参画』

講師:山下 巳紀子(大阪赤十字病院)

出野 憲由(大阪労災病院)

工藤 憲太郎(ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)

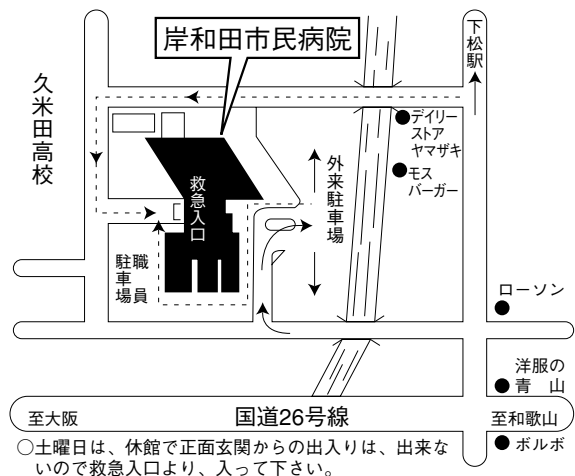
評価点:自由集会A-10点(必ず会員カードをご持参下さい)

参加費:会員500円、非会員3,000円

連絡先:南支部長 中江 健市 近畿大学病院 中央臨床検査部

TEL:072-366-0221(内線2183)

E-mail:nakae@kensa.med.kindai.ac.jp



第12回 中央支部 生涯教育研修会 のご案内

地区事業部 中央支部

日時:平成15年4月12日(土)

15:00~16:30

場所:医療研修センター

(あべのメディックス 7階研修室C)

大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号

内容:「検査室の改革と生き残り策」

講師:元大阪府済生会富田林病院

高谷 直知

参加費:会員500円、非会員3,000円

連絡先:西 時男(市立枚方市民病院 病理)

TEL:072-847-2821

■施設連絡者会議のご案内■

地区事業部

施設連絡者の方々は、ご参加下さいませようお願いします。また、施設連絡者に変更されている施設は速やかに事務所(06-6647-3454)にご連絡下さい。

日時:平成15年4月12日(土)

13:30~14:30

場所:医療研修センター

(あべのメディックス 7階研修室C)

大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号

内容:(1)「技師会の近況報告」

(2)「各支部の活動報告」

連絡先:大阪医科大学附属病院

高橋 義弘

TEL:072-683-1221



学術部 形態検査部門からのお知らせ

細胞検査分野 病理検査分野

細胞診定期講習会

(細胞診ジュニア)

日時：平成15年4月12日(土) 14:00~17:30

場所：大阪府立成人病センター 本館6F講堂

内容：細胞診の基礎・婦人科細胞診

講師：森川 政夫(大阪医大附属病院)

清水 恵子(済生会野江病院)

参加費：会員 1,000円、非会員 3,000円

連絡先：大阪府立成人病センター 細胞診

芦村 純一

TEL：06-6972-1181(内線2118)

E-mail：asimura-ju@mc.pref.osaka.jp

平成15年度病理初心者講習会

日時：平成15年4月19日(土) 10:00~16:00

場所：南大阪臨床検査技師専門学校

内容：1. 基本技術(薄切・H-E染色)

2. 免疫染色

3. その他(講義)

講師：病理検査・細胞検査分野員

定員：20名程度(事前申し込み制)

参加費：会員 1,000円、非会員 3,000円

評価点：C-10点

連絡先：日生病院 中央臨床検査部 水口 洋一

TEL：06-6543-3581(内線264)

E-mail：you-mizuguchi@sam.hi-ho.ne.jp

4月 行事予定

7日(月) 2003年5月行事予定
大臨技ニュース締め切り

10日(木) 臨床化学分野基礎シリーズ

大臨技理事会

12日(土) 施設連絡者会議

中央支部自由集会

細胞診ジュニア

[細胞分野細胞診定期講習会]

15日(火) 渉外部会

17日(木) 情報組織部会

19日(土) 平成15年度
病理初心者講習会
(事前申し込み制)

22日(火) 微生物分野定期講演会

24日(木) 機能分野研修会
[心電図]

26日(土) 南支部自由集会

30日(水) 免疫分野
[定期講習会]

血液形態セミナー

シニアコースのご案内

血液検査分野

本年度血液形態セミナー・シニアコースに参加希望の方は、必ずガイダンスに参加してください。

日時：平成15年5月8日(木) 18:30~20:00

場所：天王寺阿倍野メディックス 6階ホール

(前回と違って場所を変更していますので注意してください)

※6月からは7階研修室B

参加費：技師会の会員 3,000円(8回)

オブザーバー 500円(1回につき)

非会員は1回につき3,000円

評価点：専門教科B-10点

連絡先：松下記念病院 中央臨床検査部 村瀬 幸生

TEL：06-6992-1231(内線3227)

年間開催日

- 5月8日(木) ガイダンス/アベノメディックス6階ホール
- 6月5日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 7月3日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 9月4日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 10月2日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 11月6日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 12月4日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 1月8日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B
- 2月5日(木) 症例検討会/アベノメディックス7階研修室B

※8月は休み

募集人数

- ・技師会の会員25~30施設の代表者1名
(会員とは原則として、標本提出が可能な施設)
- ・オブザーバー 約30名

平成15年度 学術部 感染・免疫検査部門部門からのお知らせ

微生物検査分野定期講演会

前期（4～7月）は新しく微生物検査室の配属になられた方のために、微生物検査に必要な事柄をテーマに定期講演会を開催します。普段質問できなくて困っている問題など話し合える場として、微生物検査担当経験のある方もふって御参加ください。詳細は行事予定表等を御参照ください。

日 程	講 演 会 内 容
4月22日(火)	ゼロからの微生物検査－総論 講師：済生会吹田病院 井上 伸
5月27日(火)	ゼロからの微生物検査－塗沫検査 講師：市立豊中病院 上田 恒平
6月24日(火)	ゼロからの微生物検査－培養同定 講師：国立循環器病センター 浦 敏郎
7月22日(火)	ゼロからの微生物検査－感受性検査 関西医科大学付属病院 中村 竜也
9月30日(火)	効率のよい検査をめざして 講師：東京大学医学部附属病院 感染制御部 奥住 捷子
10月28日(火)	見直そう微生物検査のキーポイント－腸管感染症 講師：神戸市保健福祉局環境保健研究所細菌部 黒川 学
11月18日(火)	見直そう微生物検査のキーポイント－泌尿生殖器感染症 講師：国立神戸病院検査科 田中 美智男
1月20日(火)	見直そう微生物検査のキーポイント－呼吸器感染症 講師：NTT西日本大阪病院臨床検査科 福本 晃
2月17日(火)	見直そう微生物検査における教育 講師：国家公務員共済組合連合会大手前病院 山中 喜代治

平成15年度 輸血・移植検査分野 行事予定

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆6月7日(土)
輸血基礎講座(自由参加): ABO血液型・Rh血液型・抗体スクリーニング・交差適合試験 ◆6月8日(日)
輸血基礎実技: 初級(事前申し込み) ◆7月5日(土)
学術講演会「生体肝移植の現状」 ◆9月
輸血中級者講習会(近臨技主催、大臨技担当)
講義(自由参加)
中級講座: 血液型・血小板・輸血副作用・自己血
パネルディスカッション: 血液型・抗体スクリーニングの検査法・実際の運用について
実技(事前申し込み): 亜型検査、抗体同定、吸着解離試験 | <ul style="list-style-type: none"> ◆10月3日(金)、4日(土)
日本輸血学会秋期シンポジウム(弘前) ◆10月19日(日) 13:00～15:30
近臨技学会: 輸血シンポジウム(国立京都国際会館)
テーマ「緊急時の輸血管理体制－安全性の確保－」 ◆11月
近臨技1泊研修会(兵庫) ◆1月17日(土)
症例検討会(自由参加): テーマ「輸血副作用」 ◆2月7日(土)
輸血セミナー2004(事前申し込み)
講演会: 血液型抗原・HLA
シンポジウム: 輸血管理システム・輸血オーダリングシステム |
|---|--|

※詳細は各事業の前に大臨技ニュース等でご案内いたします。会場、講師の都合等で日時が変更となる場合もありますが、ご容赦願います。

訂正とお詫び

4月号の平成15年度学術部世話人名簿に誤りがありました。関係者各位にお詫び申し上げます。



* 4 ページ目「形態検査部門」細胞検査分野員 森島 英和 氏の所属(誤)大阪鉄道病院保健管理部 → (正)大阪鉄道病院

* 5 ページ目「感染・免疫検査部門」疫学検査分野

1. 「会計」 (誤)宮井 和子 → (正)森田 勝代
2. 「分野長」と「会計」以外の役職名は削除
3. 「分野員」 (誤)黒田 正 → (正)里田 正

学術部 生物化学分析検査部門からのお知らせ

臨床化学検査分野

基礎シリーズ
「脂質検査の標準化」

日 時：平成15年4月10日(木) 18:30~20:00

場 所：大阪市立大学医学部 4階小講義室

内 容：1. 脂質検査の標準化について

シスメックス(株) 学術情報部 伊藤 賢一

2. 新規UV法を用いたTG測定用試薬の紹介

シスメックス(株) 大阪支店学術情報課 阿部 哲也

参加費：会員 500円、非会員 3,000円

評価点：C-10点

連絡先：近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部 増田 詩織

TEL：072-366-0221 (内線 2181)

E-mail：shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp

免疫検査分野
定期講習会

日 時：平成15年4月30日(水) 18:30~20:00

場 所：大阪医科大学 基礎館第一講堂
高槻市大学町2-7

テーマ：免疫血清学の基礎

-教科書を読み返してみよう-

講 師：大阪医科大学附属病院 中央検査部 上田 一仁

参加費：会員 500円(大臨技、近臨技会員および賛助会員)
非会員 3,000円

評価点：B-10点

連絡先：上田 一仁 大阪医科大学附属病院中央検査部

TEL：072-683-1221 (内線 3304)

E-mail：uedaya@poh.osaka-med.ac.jp

学術部 生理検査部門

機能検査分野講習会 - 第1弾 - ご案内

講師は昨年も非常に好評でした、関西医科大学心臓血管病センター第2内科教授 岩坂 壽二 先生をお招きし、「今から役立つ心電図判読」と題してご講演頂きます。

気さくな先生に分かりやすく心電図を読むコツを教えてくださいますので、初心者の方も経験豊富な方も、ふるってご参加下さい。

日 時：平成15年4月24日(木) 18:30~20:00

場 所：大阪市立大学医学部4階 大講義室

内 容：「今から役立つ心電図判読」

講 師：関西医科大学心臓血管病センター第2内科教授 岩坂 壽二

評価点：C-10点

参加費：会員 1,000円

(お知らせ) 生理検査部門講習会開催場所について

機能検査定期講習会および腹部超音波研究会は大阪市大医学部4階講義室、心電図判読講座は医療研修センター研修室ABC(阿倍野メディックス7階)、心臓超音波は関西医大南館講堂にて開催予定ですが、変更になる場合もありますので毎月発行される行事予定表で必ず確認して下さい。

 感染・免疫検査部門の分野員の追加 ウイルス分野構成員が以下のように決定しました。

ウイルス検査	分 野 長	森 勝 志	国立循環器病センター	06-6833-5012
	会 計	繁 正 志	大阪医科大学附属病院	072-683-1221
	分 野 員	上 田 一 仁	大阪医科大学附属病院	072-683-1221
		小 井 俊 明	大阪厚生年金病院	06-6441-5451
		岡 田 和 敏	近畿大学医学部附属病院	072-366-0221
		川 井 和 久	大阪府藤井寺府民健康プラザ	0729-52-6165
		北 橋 繁	大阪市立大学医学部附属病院	06-6645-2290
		中 条 俊 一	N T T 西日本大阪病院	06-6773-7462
		林 孝 昭	市立泉佐野病院	0724-69-3111
		宮 野 章	大阪府立母子保健総合医療センター	0725-56-1220



気になるギモンに
お答えします!

Q HAMA抗体による 妨害反応

免疫血清検査において、しばしばHAMA抗体による妨害反応を観察しますが、この抗体が産生されると考えられる原因がありましたら教えてくださいいただけますでしょうか?

また自己免疫疾患との関連性はあるのでしょうか? (匿名希望)

A お答えします。

HAMA (human anti mouse antibody) は、マウスに対する異好性抗体です。マウスの免疫グロブリンに結合するヒトの免疫グロブリンを言います。正常・異常にかかわらず、抗マウスIgG抗体は数%から数十%のかなり高い頻度で、ヒト血清中に存在することが示されていま

す。腫瘍細胞上のエピトープに結合するマウスモノクローナル抗体を用いて、癌細胞を消滅させるための治療を受けた患者血清中に出現した抗体をHAMAと言います。また、日本で広く接種されているワクチンのなかには、日本脳炎ワクチンのようにウイルスに感染発症させたマウスの脳の食塩水乳剤を材料として作られているものもあり、かつては精製が不十分でマウス脳物質の混入が多かった時代もあるとのこと。このようなワクチンが、抗マウス免疫グロブリン抗体の高頻度の出現に関係している可能性が考えられますが、現在まで、日本脳炎ワクチンにより抗マウス抗体が出現したとの報告はありません。

異好性抗体の偽反応を防ぐには、用いる試薬中に測定系には影響せず異好性抗体に対する親和性が高い異好性阻止試薬を加え、検体中の偽反応物質の反応部位を遮断することによって干渉を除去する方法があります。最近のキット試薬には、マウスモノクローナルIgGをベースにしたHAMAの影響阻止剤が添加されています。しかし、血清中の異好抗体が過剰に存在する場合は、除去試薬の添加がかえって干渉を起こすとい

うこともありえます。このように、マウスの免疫グロブリンの添加が異好抗体による干渉を必ずしも完全に除去するものではないことは留意しておく必要があります。

腫瘍化やウイルス感染が宿主細胞に形質変換を起こさせ、細胞表面にこれまでにない新たな抗原(neoantigen)を発現させた結果、これが異物として認識された抗体が産生されたのではないかと推測される異好抗体(狭義)のなかにはそのような機序で出現するものもあります。この場合が、自己免疫疾患に関連すると思われる。

参考文献

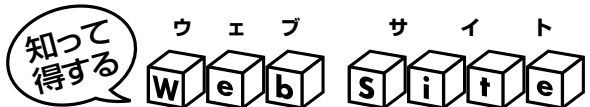
1. 『免疫血清検査における異常現象—その実例と対策—』
(社団法人日本臨床衛生検査技師会 免疫血清検査研究班、2002)
2. 加野象次郎『異好抗体をめぐって』
(臨床化学23(suppl 1):175a-1-10、1994)
3. 大竹皓子、加野象次郎
『免疫学的測定法における干渉』
(検査と技術25:207-213、1997)

(社団法人大阪府臨床衛生検査技師会)
学術部 宮野 章

コ・メディカル勉強会 「手話講演会」に参加して

多根総合病院 リハビリテーション科
北村 健

今回の手話講習会に参加して感じたことは、手を使用するのと同じくらい顔の表情が大切であること、また、それらが手話をさらに情動的な表現にするものと思いました。理学療法の臨床場面で手話の必要性を感じたことはありませんが時折、難聴の患者様に筆談をおこなうことがあります。臨床現場ですぐに伝えたい言葉、「今のは、良かった。」「上手に歩いている。」など、その動作を強化し、習得させるときなどに筆談は効果が薄いと思うことがあります。そんな時に手話のようなお互い、すぐさま通じるジェスチャーを患者様との信頼関係を築くためにとり入れるのも大事だと思います。今回の手話講演会でそのヒントのようなものを、改めて見つけ出す事ができたと思います。手話が全国統一されていないことは初めて知りました。その地方の慣習、特色が現れれば尚、一層おもしろいと思います。今回、教えて頂いた大臨技の皆様、有り難うございました。



大阪医科大学耳鼻咽喉科花粉情報

<http://www.osaka-med.ac.jp/~oto000/>

大阪府下の地域密着型花粉情報、役立つこと間違いなしです。

花粉症健康指導マニュアル

<http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/>

環境庁作成による花粉症健康指導マニュアル「花粉症とは」から「発症のメカニズム」「対策」などこれを見れば花粉症知識はバッチリです。もちろん検査方法についても解説しています。

マスク専門ホームページ

<http://www.mask.co.jp/>

花粉症にマスクは必需品、マスクもいろいろあるのですね、このページからオンラインで購入も可能です。激安商品は必見!

Cool Down

身分証明

3月6日で普通自動二輪の免許を取って1年が経った。これからの季節、バイクでいろんな所へ行くのは大変気持ち良い。

実は私は車の免許は持っていない。なぜ免許を取る時、車よりバイクを選んだかという、車の方がバイクより使う必要がなさそうだったからだ。玄関を出て改札まで歩いて3分、ダッシュなら2分。屋根のある道が多いのでどしゃ降り以外は傘は不要。父親（運転免許あり）の勤務先も自転車です15分ということもあって、昔から家には車がなかったが車の無い生活で不便を感じることはなかった。車があればあるできっと便利なんだろうが、維持費や駐車場確保（これが大きい）のことを思うとタクシーを利用するほうが気楽な気がした。そもそも運転免許を取ろうと思ったきっかけは、身分証明になるものがパスポートしかなかったからだ。免許を取る前は、身分証明においてかなり不便だった。何かの会員になろうとする時や郵便局などの不在通知を本局で受け取る時など、生活のちょっとした場面で面倒を感じた。普段からパスポートを持ち歩く訳にもいかないので、一旦パスポートを用意してからもう一度手続きといった具合だ。2度くらいならいいが、何回も続くとこれはなんとかせねばと思うようになったのだ。そして一番面倒だったのがパスポートを取る時だった。もちろん運転免許がないので、その時は確か健康保険証と源泉徴収票を組み合わせで申請した。運転免許やパスポートなど、写真付の身分証明というのは本当に便利かつ強力である。検査技師の免許証も、写真付だと普段の生活にも効力が出てくるでしょう。

(今田晶子)

事務局からのお願い

平成15年度会費納入が未納の方は、できる限り早い時期に納入してください。「免許申請中」で技師会入会手続きをされた方は、免許取得後速やかに「免許番号・取得年月日」を大臨技事務所まで連絡してください。

□平成15年度会費	納入金額
①日本臨床衛生検査技師会	10,000円
②大阪府臨床衛生検査技師会	4,700円
③近畿臨床衛生検査技師会	300円
合計	15,000円

会費領収書について

平成14年度より郵便振込みの際に渡される半券の領収書をもって大臨技会費領収書とさせていただきます。

従前のような手書きの領収書を特に必要とされる方は別途大臨技事務所のほうへご依頼ください。その際は多少日数を要しますので、余裕をもってご連絡のほどお願いします。

- 新入会員の方は、入会金6,500円(日臨技2,000円、大臨技4,500円)が加算されますので、合計21,500円となります。
- なるべく施設毎にまとめてお振込みください。
- 納入の際は必ず施設名と会員番号をご記入ください。
- 会員の「継続」、「入会」、「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送をお願いします。TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴り込みは、会誌「医学検査2003年1月号Vol.52、No.1」に掲載されています。
- 特に住所変更については、必ず届出をしてください。届出をされませんと、宅急便のメールサービスを利用した大臨技からの郵送物は、あて先不明で配達されなくなります。

活動性抗酸菌症の
診断に有効

抗抗酸菌(Lipoarabinomannan)抗体検出試薬キット

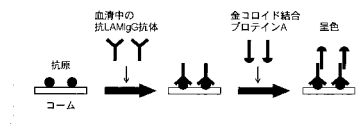
「マイコドット」
MycoDot

特徴

1. 血清中の結核菌及び非定型抗酸菌による抗体を検出します。
2. 金コロイド免疫測定法を用い簡便、迅速な検査が可能です。(所要時間20分)
3. 特別な装置・器具を必要としません。
4. 排菌陰性症例でも高い陽性率を示します。(陽性率69%)

測定原理

固相化抗原(Lipoarabinomannan=LAM)と結合した血清中の抗抗酸菌(LAM)抗体が、金コロイド結合プロテインAと反応し呈色(淡紅色)する。



(資料請求先)



和光純薬工業株式会社 臨床検査薬カスタマーサポートセンター

T103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13 電話:03-3270-9134(ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX: 06-6644-1128 E-mail: imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

5月号の原稿〆切は 4月7日(月)、6月号は 5月7日(水) です。